広報
さめがわ

昭和63年
10月号
No. 418
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



県議会議員団、村内の水稲被害状況を現地調査

今年は異常気象による不作に加えてイモチ病が大量に発生し、村内の水稲は昭和55年に匹敵する被害となっています。

これら、被害状況調査のため、県議会議員団（菊池四郎議員・高田兼芳議員・橋本丑恵議員の3名）は、9月16日本村を訪れ、不稔などの被害が多い青生野・戸草地区をつぶさに調査しました。

議員団は、このあと、役場で村からの陳情を受け、続いてイモチ病で被害を受けている地域を調査してまわりました。

村では、その後も国・県に天災融資法の発動、激甚災害の指定、農家経営安定資金の融資対策及び利子補給、水田農業確立対策における転作の軽減などを要望する一方、救農土木事業をはじめとする冷害対策を検討しています。

10月1日～12月31日	赤い羽根共同募金運動
10月11日～20日	全国防犯運動
10月16日～22日	行政相談週間

今月の人口
（10月1日現在）

		前月比
人口	5,464	（＋7）
男	2,697	（＋2）
女	2,767	（＋5）
世帯数	1,136	（＋1）

昭和62年度決算状況

一般会計歳出 19億9,126万円

昭和六十二年度歳入歳出決算は、九月の定例村議会で審議され、一般会計・特別会計とも九月二十四日に認定されました。その決算状況をお知らせします。

歳入決算の状況

歳入決算の状況は図1のとおりで、総額二〇億六、五八九万八、四一七円となり、前年度に比べて一億三、六五五万四、七二七円（六・二%）の減となりました。

費目別にみると、歳入額のトップは地方交付税で、全体の五三・八%を占め、前年より七・三%伸びています。

次いで村債の一一・八%ですが、対前年比一三・八%減と年々減少しています。

三番目が村税の八・四%と続いています。

国庫支出金、県支出金は、林業総合整備事業が昭和六十一年度で完了したことや、災害復旧事業が少なかったことにより、対前年比三五・一%、三二・七%とそれぞれ大幅に減少しました。

決算収支の状況

区　分	昭和62年度
歳入総額 A	2,065,898,417円
歳出総額 B	1,991,255,091
歳入歳出差引額 C (A－B)	74,643,326
翌年度へ繰り越すべき財源 D	—
実質収支額 E (C－D)	74,643,326
単年度収支額 F	26,197,165
積立金 G	28,208,202
積立金繰出処分額 I	38,000,000
実質単年度収支額 J (F＋G－I)	16,405,367

図1 歳入決算状況

総額　20億6,590万円

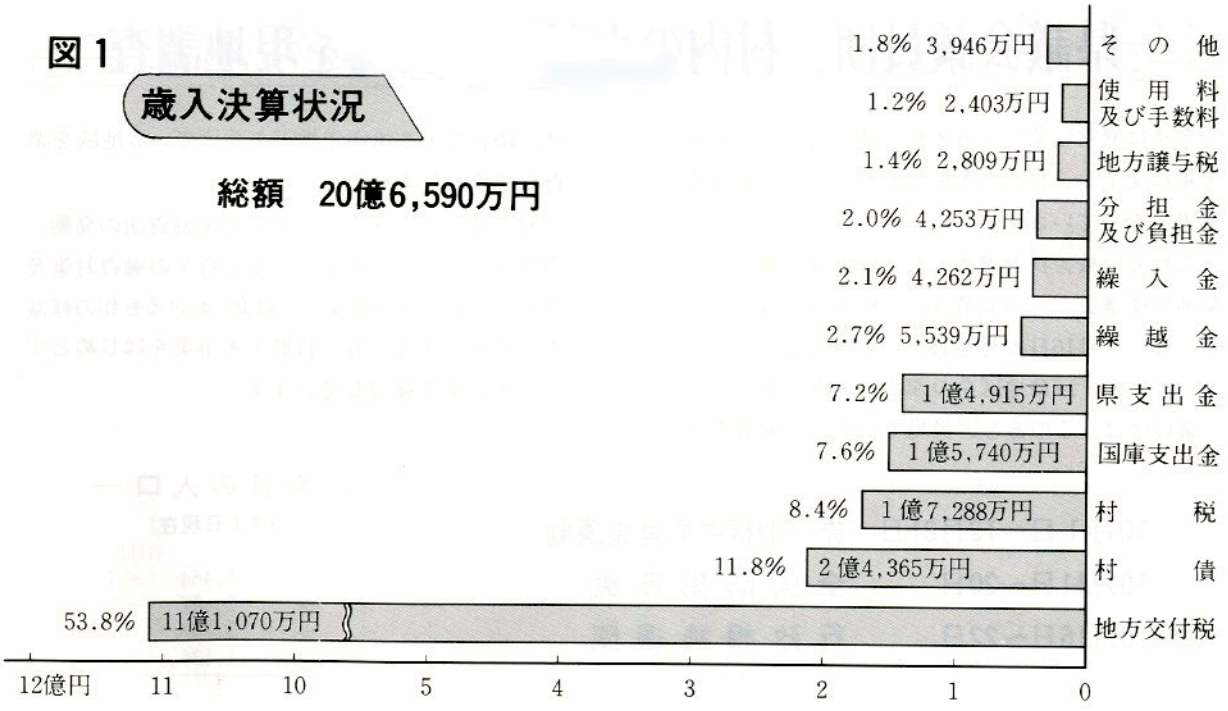


図2

歳出決算状況

総額　19億9,126万円

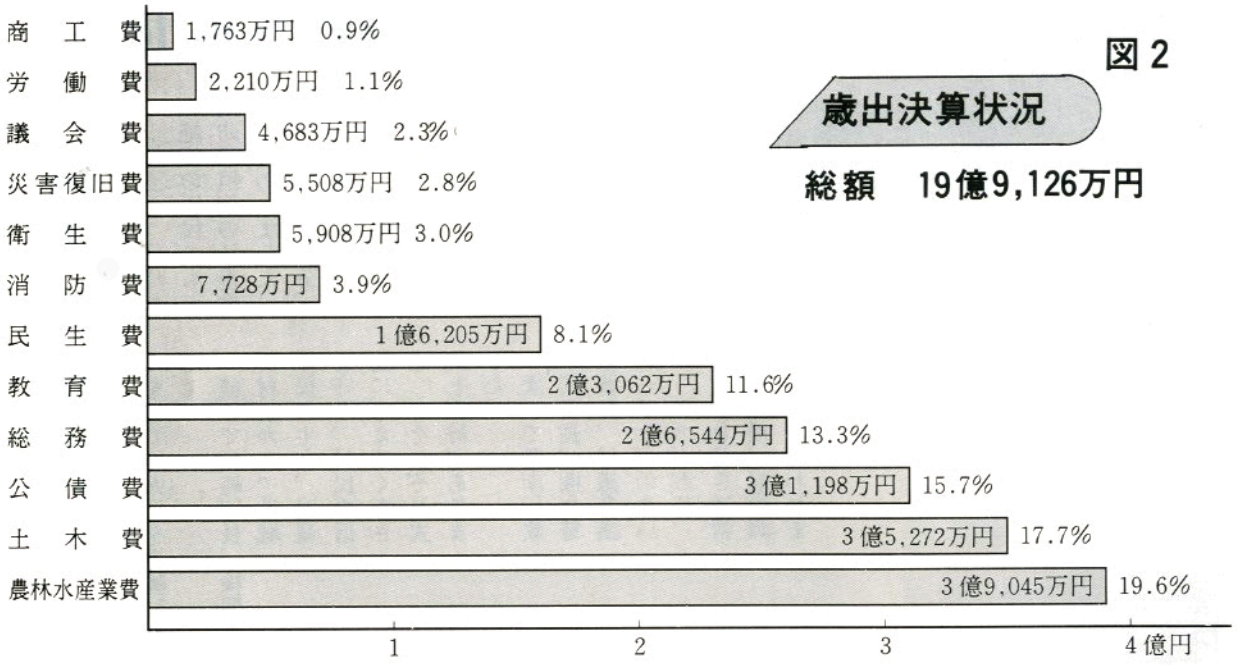
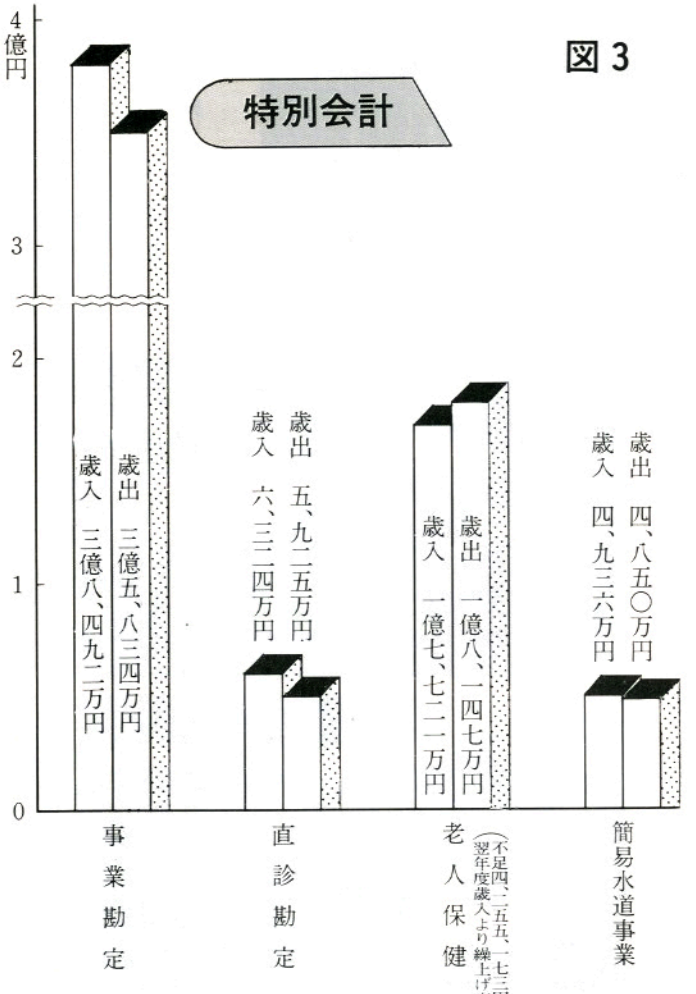


図3

特別会計



歳出決算の状況

歳出決算の状況は図2のとおりで、総額で一九億九、一二五万五、〇九一円となり、前年度に比べて一億五、五八一万一、八九二円（七・三%）の減となりました。

費目別にみると、農林水産業費が一九・六%とトップであるが、対前年比で一五・八%（七、三一七万円）と減少しています。これは、林業総合整備事業の完了、第三期山振農林漁業対策事業費、飼料基盤整備事業費等の減によるものです。

次いで土木費の一七・七%で対前年比一四・八%（四五、四一万円）の増、公債費の一五・七%、総務費の一三・三%と続いています。

性質別では、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が八億四、一三八万円（四二・三%）で対前年比五・六%増、投資的経費（普通建設事業費・災害復旧事業費など）が六億八、八八六万円（三四・六%）で対前年比二〇・六%減、その他の経費（物件費・補助費など）が四億六、一〇〇万円（二三・一%）で対前年比四・五%減となっています。

広報さめがわ

消防団秋季検閲

無火災を誓う

十月三日、秋晴れの絶好の天候のもと消防団恒例の秋季検閲が行われました。

午前八時一五分、同報無線のサイレンと同時に消防団員三三三人が広畑地内をスタートし、青少年広場まで市内行進を行いました。

式では、国旗掲揚に続いて全員が黙とうをして無火災を祈願しました。

続いて松崎団長、検閲官芳賀村長から〝地域住民の生命、財産を守り、村民の信託に応えてください〟とそれぞれ式辞と訓辞がありました。

次いで県南行政事務所長、棚倉警察署長、村議会議長などのあいさつがあり、引き続き通常点検、規律訓練が行われました。

団員の敏速な動作、統制ある行動に来賓から全幅の信頼が寄せられました。

このあと、分団対抗の水勢競技も行われ、参観者を楽しませました。



▲整然と市内行進



▲分団対抗の水勢競技



▲検閲官・来賓等の閲団を受ける消防団員

水稲被害状況

国会議員
相次いで村内を調査

村内の水稲は、異常気象による不稔とイモチ病の発生で二重の被害を受けています。

九月に入り国会議員の方々が相次いで、御見舞と現地調査に本村を訪れました。

九月二十四日には、渡部恒三議員が青生野地区を、下田議員が青生野と鍬木田地区をそれぞれ調査して歩きました。

また、十月二日には伊東議員が富田と青生野地区を、十月四日には穂積議員が大塩・富田地区などを見てまわり、各議員とも今後国会などでこの問題を取り上げていく旨話されました。



◀江堀地区を調査する渡部恒三議員



◀村・農協職員から説明を受ける下田議員（鍬木田地内）

雨を冒して火災防御訓練

九月二十五日の早朝雨の降る中、西山字菅田地内で鮫川村消防団と常備消防鮫川分署の合同火災防御訓練が行われました。

この日、消防団員、鮫川分署員、鮫川駐在所員ら一〇〇人が参加し、菅田地内から出火して山火事が発生したとの想定で始められました。

まず、電話で消防署に通報されたあと、同報無線で村内一斉緊急放送が行われ消防団員、分署員が出動しました。

今回の訓練では、事前に水利の選定や部署の指示などを行わず、当日到着した順に消防団長の指揮命令により部署に着くという初めての試みでしたが、伝達、中継などの動作も的確に行われました。



▶本番さながらの訓練

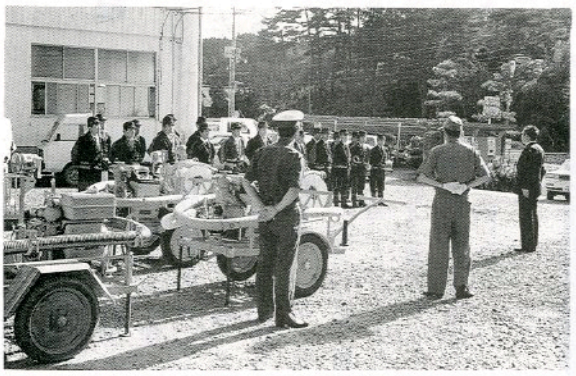
第2分団（塚本）と第6分団（中沢）に小型動力ポンプ交付

村では毎年、消防力の増強を図るため、補助事業により小型動力ポンプを購入しています。

六十三年度は、二台購入し九月十四日役場前庭で交付式を行い、第二分団第一班（塚本）と第六分団第三班（中沢）に交付しました。

交付式では、まず、分団長から団長へ、団長から村長に古い管槍が返還され、続いて村長から団長へ、団長から分団長に新しい管槍が交付されました。

村長から「新しい機械に早く慣れ、地域住民に信頼されるよう心がけてください」とあいさつがあり、続いて松崎団長から一朝有事の際、いち速く活動できるように訓示がありました。



新しい教育委員に

矢吹 一二さん
有賀 華子さん

このたび、教育委員会委員の任期満了に伴い、九月の定例村議会の同意を得て矢吹一二さん（＝大字赤坂西野字仁田）と有賀華子さん（＝大字赤坂中野字巡ケ作）の二人が、新しい教育委員に任命されました。

矢吹さんは、昭和五十八年四月から六十二年三月まで四年間赤坂西野区長を勤められ、現在は社会教育委員や交通安全協会鮫川支部の役員として活躍されています。また、有賀さんは村の婦人会長を経験され、現在は社会学級などで講師として活躍されています。任期は昭和六十三年十月一日から六十七年九月三十日までの四年間です。



▶県職員から説明を受ける伊東議員（江堀地内）



▶大塩地区を調査する穂積議員

敬老会

踊りや民謡で楽しいひととき

村恒例の敬老会を九月十五日の敬老の日に五七五人の高齢者をお招き（出席）して、山村開発センターで行いました。

まず、芳賀村長から〝今日の鮫川村があるのは皆さんのおかげです。これからもご壮健で活躍してください。〟とあいさつを述べたあと、来賓の方々からお祝いのことばがありました。

続いて、八〇歳になられた方を代表して生田目長治さんと八八歳の米寿を迎えた小松七郎さん、結婚五〇年以上の金婚夫婦一二組を代表して鈴木公義さん夫妻に、それぞれ村長から記念品が贈られました。

このあと、富田小六年の坂本礼子さんと、鮫川中一年の緑川エミ子さんが作文を朗読し、招待者を代表して遠藤忠助さんが謝辞を述べました。

慰安演芸では、鮫川村ふるさと文化芸能クラブの皆さんによる唄や踊りなどが披露され途中、飛び入りもあり最後に出席者と会場の皆さん全員で「赤とんぼ」を合唱して閉会となりました。



▶八〇歳以上の方一人一人に、村長から敬老年金が手渡された



▶招待された高齢者の皆さん



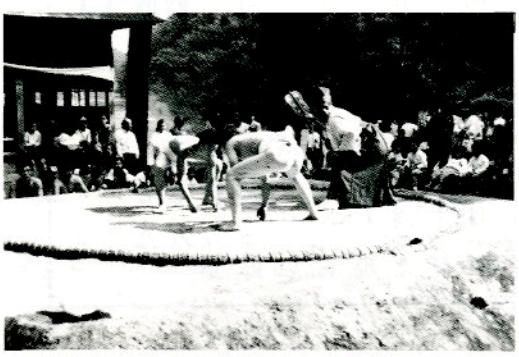
▶ふる里芸能クラブの皆さんの唄と踊り

秋祭り

伝統行事 西野青年相撲

十月一日は村統一祭礼の日。例年なら商工会や保育所のみこしなどがにぎやかに繰り出されるところですが、今年は水稲など農作物の被害が甚大であることから、これらの行事は取りやめになりました。

西野の能野神社境内では、西野青年会による伝統の青年相撲が行われ、観衆から喚声があがりました。

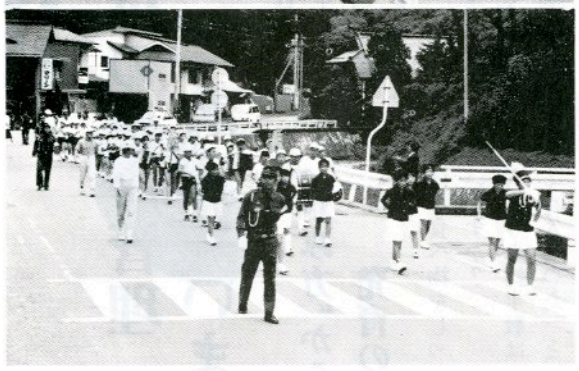


鮫川うまいもの祭り

と　き	昭和63年10月16日㈰ 午前10時～午後２時
ところ	鹿角平観光牧場
入場料	１人　２，０００円
催し物	鮫川牛バーベキューパーティー うまいもの青空市 紙飛行機大会　ほか
主　催	鮫川村商工会むらおこし 実行委員会
共　催	鮫川村ふるさと振興協議会

無事故を願って交通安全パレード





「秋の全国交通安全運動」が九月二十一日から三十日まで行われましたが、この運動の一環として、九月二十六日、鮫川小学校鼓笛隊、村交通対策協議会及び交通安全協会鮫川支部役員、交通安全母の会、ライオンズクラブ役員ら約一五〇人が参加して交通安全パレードが実施されました。

午後一時、花火を合図に広畑地内を出発。沿道で地域の人たちが拍手と声援で出迎える中、無事故を願って鮫川小学校まで行進をしました。

村内では、昭和五十九年十月十七日以来交通の死亡事故ゼロが続いています。

東白川小学校陸上競技大会
鮫川勢健闘

第二回東白川小学校陸上競技大会が、九月二十七日棚倉町で郡内四町村の小学生が参加して行われました。

村内からも各小学校から出場し、二種目で一位、二位四種目、三位四種目と健闘しました。

成績は次のとおりです。

■男子

▼一〇〇㍍③森紀幸（鮫川）▼八〇㍍ハードル③諸橋忠男（鮫川）▼走り高とび②藤田雅教（渡瀬）▼ソフトボール投げ③岡崎進也（鮫川）▼四〇〇㍍リレー②鮫川小

■女子

▼八〇㍍ハードル②田子裕子（鮫川）▼八〇〇㍍①鈴木美幸（西野）《大会新》▼ソフトボール投げ①矢吹幸恵（鮫川）▼四〇〇㍍リレー②西山小③鮫川小

白河地区身体障害者体育大会
鮫川村選手団準優勝！

九月二十九日、東西白河地方の身体に障害のある皆さんが一堂に会して、第一五回白河地区身体障害者体育大会（主催・白河地区身体障害者福祉会連絡協議会）が、矢祭町勤労者体育センターで行われました。

大会には、東西白河一二市町村の選手、役員三三二名が参加、本村からは、根本弘身体障害者福祉会鮫川分会長をはじめ一七名の選手が参加しました。

競技の結果は、各種目に上位入賞の活躍をした本村選手団が各分会対抗の部で、みごと準優勝を飾りました。

昭和63年度秋募集
説明会の開催

青年海外協力隊

○資格　二〇歳から三五歳までの日本国籍を有する青年男女

○派遣期間　三年間

○派遣職種　農林水産・加工・土木建築・保健衛生・教育文化・スポーツ等約一五種

開催日時・場所

月　日	曜日	時　間	市　名	会　場　名
10／31	月	18:30～	会津若松	会津若松市中央公民館
11／1	火	〃	福　島	福島民報ビル
11／21	月	〃	いわき	いわき市文化センター
11／22	火	〃	郡　山	郡山市中央公民館

問い合せ先　1．福島県生活福祉部県民生活課
TEL0245－21－1111(内線2166)
2．国際協力事業団東北支部
TEL022－223－5151

お元気ですか

保健婦です

子供の健康管理 考えていますか

――〝かみ方〟から発育の点検を――

その2

――タバコの喫煙――→動脈硬化を早める

若年化傾向

大人のタバコ離れが進むなかで、若年者の喫煙の増加が問題になってきています。

中学生の男子では、二人に一人、女子では一〇人に三人が喫煙の経験があるというデータもあります。

この喫煙の若年化で一番問題になるのは、動脈硬化です。本来なら三〇～四〇歳代から始まる動脈硬化が、最近では一〇～二〇歳代から見られるようになっています。動脈硬化が進めば、やがては心筋梗塞や狭心症が起こるおそれがあります。

子供さんは、食べ物をしっかりかんでいますか？

幼児三八人のうち約半数は「口を開けてかんでいた」という調査結果がありました。

これは、上唇の筋肉やあごの発達が遅れているのが原因です。

また、虫歯があったり、鼻が悪い場合も、口を開けてかむようになります。あるいは、片側だけでかむ子供は、歯並びやかみ合わせの異常が原因です。その他、パン等を小さくちぎって食べる子供には虫歯が多いといわれ、よくかまない子供は、ダラダラ食をしたり、食事中、落ちつきがなくなるといわれます。

子供に「しっかりかむ」ことを家族が幼児期から教えてあげましょう。また、かみ方や口の動し方を改めて見てあげてみませんか。

◎よく「かむ」ことの効果

①消化と栄養の吸収をよくする。

②歯やあごの発達や、歯並びをよくする。

③はぐきの運動が大脳を刺激し、集中力を高める。

④味覚をよくする。



⑩月⑪月の健康カレンダー

種別		実施日	対象者	受付時間	会場
乳幼児健康診査	4か月児健診	10月12日(水)	63年6月生れの者	午後1:00～2:00	棚倉保健所
		11月9日(水)	63年7月生れの者	〃	〃
	乳児(6～7か月)健診	11月29日(火)	63年4月・5月生れの者	午後1:10～1:20	山村開発センター
	乳児(9～10か月)健診	〃	63年1月・2月生れの者	午後1:30～1:40	〃
	2歳児歯科健診	11月8日(火)	61年6月～9月生れの者	午後1:10～1:20	〃
	3歳児健診	10月18日(火)	60年8月・9月生れの者	〃	〃
	1歳6か月児健診	〃	62年2月・3月生れの者	午後1:30～1:40	〃
予防接種	三種混合ワクチン接種(百日咳・破傷風・ジフテリア)	10月11日(火)	2歳～4歳	村内7か所で実施(対象者には別途通知します)	
		11月4日(金)			
	(小児マヒ)ポリオ生ワクチン投与	10月17日(月)	3か月～1歳未満の者		
	インフルエンザ予防接種	10月20日(木)	3歳以上で集団生活をしている者		
		11月24日(木)			
	(結核検診)ツベルクリン反応検査	11月15日(火)	3か月～1歳未満の者		
	(結核検診)BCG予防接種	11月17日(木)	ツベルクリン反応検査の結果陰性の者		

※各健康診査、予防接種には、必らず母子健康手帳を持参しましょう。

しめやかに 戦没者追悼式



9月20日、山村開発センターで遺族の方々や来賓約190人出席のもと、しめやかに戦没者追悼式を開催しました。

芳賀村長の式辞に続き、蛭田村議会議長と遺族代表の阿久津光翁さんが追悼の辞を述べました。

引き続き、遺族会主催による慰霊祭が行われ、戦没者241柱の英霊をしのび、めい福を祈りました。

戦没者追悼式と慰霊祭は、昭和61年度から2年に一度開催されることになりました。

常備消防鮫川分署に 新しい救急車配置



9月7日、白河地方広域市町村圏消防本部から棚倉消防署鮫川分署に新しい救急車が配置され、芳賀村長、蛭田村議会議長、松崎消防団長、荒井棚倉消防署長、遠藤鮫川分署長らが出席して役場前庭で交付式が行われました。

今回配置された救急車は、今までの車よりも車体が一まわり大きく、車内の医療機器なども整備されています。

文芸



俳句

沙華　上　高坂　蚯切

擦い飲む空青々と岩清水
反田　小山田清哲

冷害に重ねてイモチ稲赤し
横座　矢吹　茂

菊咲いて隣り同士が讃え合う
道少田　山本五十鈴

夕されば百合が寄りそう磨崖仏
新宿　斉須　信子

束の間の日差し乳飲み子を抱き上げて
宿ノ入　田中　義明

揃いたつ不稔の稲穂雨つづく
道少田　山本　朗史

昭和一代昏々とあり露も血も
突きぬけて芝生に咲ける曼珠

いわき市　金沢　暁舟

秋暑し一人降りたる無人駅
鮫川高校　沢　草二

円空の朽ちたる貌や秋黴雨
押　野　山本　恵子

秋の崖木の葉一気に投身す
大　塩　矢吹　呂孝

短歌

新宿　杉山　忠男

敬老会招かれ賜る赤座ぶとん
撫でつつ思う残老の構え

青生野　吉成　タカ

待つ盆も飾り日短かく果てにけり送り灯の灰門に残して

名下　須藤美代子

わが家とおなじ芙蓉の花咲けり線路に近く沿う家々に

福原　蛭田　正

生業（なりわい）は農あるのみと若きらは丹精すれど稔りなき稲

広畑　岡部ヒサ子

菊の支柱に止まるとんぼの薄き翅夕陽に映えて赤くきらめく

越虫星　武

秋陽浴び四季バラ一つ花咲けりくれないの花すがしく映える

折戸　阿久津ミツ

長つゆに悩まさるゝも葉煙草の収穫果たせば安らぎ深し

棚橋　関根　一好

折々の夢に顕つ君今も尚かの十八の笑顔幼なし

酒垂　石井　カヤ

東京に住む妹と仲見世を行けど見とれて足の進まず

遠ケ竜　須藤　幸子

背のびして傘かけやれば湯気のたつ吾子の背中にシャツがはりつく

新宿　関根　京子

名も知らぬ虫の鳴く声聞きいつゝ、短かし命に我が身重ねつ

本坂　藤田　初枝

明日の詩舞の舞台想いつゝ、今宵ひとさしそっと舞ってみる

宿ノ入　宗田　俊江

雨止みし空に早くもすいすいとあきつ無数にとび交いており

巡ケ作　鈴木　米子

ひさびさの陽射しうれしく隣どうし物干しながら声をかけ合う

農委だより

水稲作柄状況

昭和55年の冷害時並みの悪さ

農業委員会では、九月二十七日村内一円にわたり水稲の作柄状況調査を行いました。

この日はあいにくの雨でしたが、作柄を心配した農業委員の人たちは、熱心に調査して歩きました。

今年は、昭和五十五年と同じくらいの収量しか見込めないうえ、昭和の中でもかつてないほどイモチ病が多発しているため、農家では大きな打撃を受けています。

今年の稲作は、活着が悪く、さらに七月中・下旬の異常低温・寡照で生育が遅れたため、出穂最盛期は平年に比べ約一週間ほど遅れました。

穂数は平年並みであったものの、一穂当たりのもみ数は七月の低温によりやや少なめでした。

登熟は、出穂が遅れ、また出穂期以降も寡照で降雨の日が多く、長期の不順天候のため茎葉が軟弱で、さらにこれがイモチ病の多発へとつながりました。

なお、出穂が遅れたことから登熟障害がでています。

刈取り期は、出穂期が遅れたことと、出穂期以降も不順天候に経過していることから平年より遅れていますが、品質をさらに低下させないよう適期の刈取りや乾燥調製に注意しましょう。



▶「これほどひどいイモチは初めて」と不安そうに見る農業委員

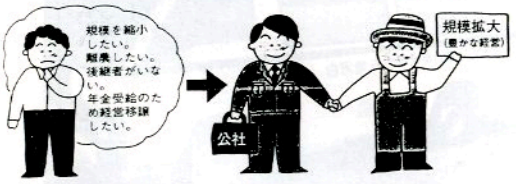
農地保有合理化

農地の売買・貸借は農業公社が仲介

国民食糧の安定的供給の確保と、生産性の高い農業経営を育成することが、農政の基本課題となっています。

このため、その基盤である農用地の確保・拡大とその効率的利用、農業経営の規模拡大等を積極的に推進することを目的として、公的な機関が農地などの権利移動に直接介入し、農業構造の改善が図られるよう方向づけを行う農地保有合理化促進事業が実施されています。

この農地保有合理化促進事業は、県農業開発公社が土地を買入れ、または借り受けてこれらの土地を経営規模拡大意向の中核的担い手農家等に売り渡し、または貸付ける事業で、すべてに利点がありま



す。

〔農地の売買の場合〕

・農地を売る人

(1)公正な価格で買入れ

(2)土地代金の支払は、すぐ支払います。登記などの手続きも、いっさい公社が行い費用は、全て公社が負担します。

(3)土地譲渡所得税は、五〇〇万円まで特別控除されます。（一般の場合は一〇〇万円）

・農地を買う人

(1)不動産所得税が三分の一控除されます。

(2)登録免許税が、一、〇〇〇の二〇に軽減されます。（一般の場合は一、〇〇〇分の五〇）

(3)農地等取得資金の借入限度は、一、七〇〇万円（年利三・五%）まで融資を受けられます。

〔農地の貸借の場合〕

・農地を貸す人

(1)五～一〇年以上の定期賃貸借の場合に、五～一〇年分の小作料は、一括前払いを受けることができます。この場合、所得税が軽減されます。

(2)農業者年金の経営移譲年金の加算付年金または離農給付金（六二万円）が受けられます。

・農地を借りる人

(1)小作料は、標準小作料をもとにした納得できる金額で毎年公社に納入することにより、安心して耕作が保証されます。

(2)地主との交渉は、一切公社が行ないます。

なお、詳しくは、村農業委員会にお問い合せください。

公民館だより

村政への理解深める

社会学級　第四回講座

社会学級第四回講座は、九月二十四、二十六、二十八日の三日間にわたり、講師に緑川助役を招いて「村政」教室を開催し、村政一般についての話を聞きました。

まず、本年度の異常気象による冷害の状況と、これに対する具体的な村の対応についての話があったあと、予算のしくみについて、本年度の予算額をあげながら説明がなされました。特に、村の各種施策を実施していく上での財源として、どのような性質のものを、どのような考え方で充当しているかについて、詳しい説明がなされ、初めて聞く村の財政の話に、学級生は熱心に聞き入りました。

次に、本年度の重点事業について、各教室ごとに該当する地域内の事業について説明があったあと、現在テレビ等で話題となっている「竹飛歩学園」、それによる波及効果「うまいもの祭り」、鹿角平観光施設整備等、いわゆる"村おこし"と呼ばれる施策に対する話があり、これらの状況の土台となっている鮫川の恵まれた自然と、人情味あふれる村民性の大切さを強調しながら、今後の村政への理解と協力をお願いし、約一時間半にわたる講義を終了しました。

また、西野教室の趣味の学習では須藤栄恭さん、渡瀬教室の一般学習の時間では鷲野谷満さんによる、「高齢者の交通安全」の話がありました。須藤さん、鷲野谷さんは、先頃白河で開催された「高齢者のための交通安全」の研修を受講し、高齢者の交通安全指導員の資格を取得したものです。

趣味の学習については、各教室ともゲートボールを計画していましたが、あいにくの雨により、中央教室を除いて中止となりました。



▲財源の話に聞きいる学級生
—西野教室—



▲高齢者の交通安全について講義をする鷲野谷さん
—渡瀬教室—

映画会のおしらせ

公民館では、次により映画会を実施いたします。お誘い合わせの上ご観覧ください。

- 題名　はだしのゲン
- 日時　十一月三日（木）　午後七時
- 場所　山村開発センター
- 入場料　無料

自らも被爆者である中沢啓次のベストセラー劇画のアニメ映画で、上映時間は八〇分。太平洋戦争末期から原爆投下、さらに敗戦からその後にいたる広島市を背景に、主人公・中岡元（ゲン）がさまざまな困難や苦しみにもめげず、持ち前のバイタリティで生き抜いてゆく様を、ときには笑い、ときには熱い涙をまじえて感動的に描きます。

硬式テニス教室開催される

村教育委員会と村体育協会の共催による硬式テニス教室が、九月二十九日、午後七時三〇分から農業者トレーニングセンターで、郡山市の元国体選手監督山内雄和先生を招いて開催されました。

教室には、二六人が参加し、軽いランニングと柔軟体操をした後、経験者と未経験者に分けて実技指導が行われました。

ラケットの握り方から始まり、フォアスイング、バックスイング、ボールの打点等、ボールを打ちながらマンツーマンの指導が行われました。

未経験者の人たちも、最初ぎこちなく戸惑いがちでしたが、徐々に熱が入り、一時間半もまたたく間に過ぎてしまい、後かたづけをする姿にも未練が感じられる教室でした。



▲指導を受ける参加者



▲マンツーマンの丁寧な指導

10月16日～22日

行政相談週間

十月十六日から二十二日までの七日間は「行政相談週間」になっています。

国や公団・事業団などの仕事や村が国から委任されたり、国の補助金を受けて行っている仕事で

- 説明に納得できない
- 処理がまちがっている
- どこに申し出たらよいかわからない
- 苦情を直接申し出にくい
- このようにしてほしい……

などの苦情・要望がありましたら行政相談員にご相談ください。

村では、毎月一回心配ごと相談日と併わせて行政相談日を設けています。また、行政相談日以外の電話による相談も受付けしています。

自宅で相談したい方には、相談員が自宅にお伺いします。

行政相談員　緑川　操



住所　大字赤坂西野字仁田
電話番号　四九－二三六六

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会へ）

○　字官代　宗田忠夫様
亡母（トク様）の遺志により
二〇、〇〇〇円

○　字広畑　齋藤輔男様
亡母（タケ様）の遺志により
一〇〇、〇〇〇円

○　字馬場　鈴木勝正様
亡父（森正様）の遺志により
五〇、〇〇〇円

○　字石井　佐藤和男様
亡父（正輝様）の遺志により
三〇、〇〇〇円

心配ごと行政相談

10月20日（木）
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後一時から三時までは、弁護士による相談を行いますのでご利用ください。

児童手当支払いのお知らせ

児童手当は、10月7日に鮫川村農協口座に振込みましたので、お受けとりください。

（住民課）

塙セリ市場だより

（63・9・20）

性別	頭数	取引価格 最高	取引価格 最底	取引価格 平均	平均体重	平均月齢
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌牛	133	504	266	365	250	9.6
去勢牛	134	556	338	452	283	9.3
計	267			409		

おめでた

八月

大石草　鈴木美香　父鈴木次男
前田　前田ぁゆみ　父前田勝之

九月

田野上　蛭田夏美　父蛭田　茂
酒垂　石井麻里恵　父石井幸一
官代　宗田めぐみ　父宗田孝美

おくやみ

九月

	歳	世帯主
官代	宗田トク	宗田忠夫
広畑	81 齋藤タケ	76 齋藤輔男
馬場	76 鈴木森正	鈴木勝正
石井	87 佐藤和男	佐藤　正輝

今月の納付

村・県民税　第三期
国民健康保険税　第五期
国民年金保険料
納期限　10月25日

休日の在宅当番医

（10・11月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	当番医院 塙町	当番医院 石川町
10月16日(日)	薄葉	車田	務川本
23日(日)	大木	根本	山一
30日(日)	東白川中央	厚生病院	一
11月3日(木)	阿部	一	矢内・大野(診)
6日(日)	藤田	石川	鹿岡(産)
13日(日)	勝田	一	原
20日(日)	菅原	一	矢吹
23日(水)	薄葉	中島	田中
27日(日)	大木	車田	石川中央

ゴミの収集日

収集コース	種別	10月	11月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～榊木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	3.6.13.17 20.24.27.31	7.10.14.17 21.24.28
	不燃物	14.28	11.25
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	3.6.13.17 20.24.27.31	7.10.14.17 21.24.28
	不燃物	14.28	11.25
鮫中～真坂～寅助平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落台～官沢コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.30
	不燃物	13.27	10.24
石井草～前田～鬼越～戸倉～笈田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.30
	不燃物	21	18
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.30
	不燃物	12.26	9
官代～栖久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.30
	不燃物	14.28	11.25

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。